

■

イノベーションデイズ2019
デザイン思考に基づく
学部横断型産学連携研究開発モデル

知的財産学部 高田恭子
知的財産研究科 松井章浩



2019年9月13日(金)
梅田キャンパス

- 中小企業と大学との共同研究における課題
 - 共同研究契約のあり方
 - より創作的な研究ができるはずなのでは？
 - ・ 大学の研究力だけでなく、学生の発想力が欲しい
 - ビジネスから遠い印象
 - ・ 実践的な共同研究がしたい
 - ・ マーケットを重視した共同研究がしたい
 - 知的財産(ビジネス)の側面をサポートして欲しい
 - ・ 大学の知的財産支援機関の役割と限界
- 学生たちに実践的な学びを提供

文理融合の強さを活かす取り組み: 学部間連携

■ 工学部と知的財産学部の共同研究

- 2014年に宇宙推進工学研究室(工学部)と高田研究室(知的財産学部)の共同研究を開始
- 共同研究成果の特許出願支援
- 研究室研究成果のビジネス化の検討

■ R&D工学部と知的財産学部の共同研究

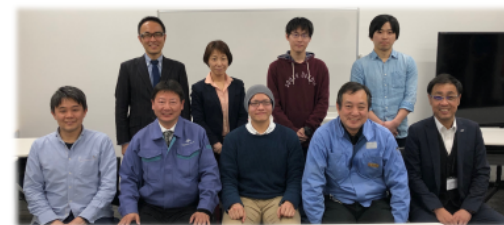
- 2017年: 産学連携共同研究の知的財産支援を開始
- 2019年: 新たな共同研究モデルの開発に着手

管足模倣型SMAソフトアクチュエータ技術の応用研究から 新たな産学連携モデルを探求する

知的財産学部、ロボティクス&デザイン工学部フレキシブルロボティクス研究室、工大OB企業3社の共同研究プロジェクト「管足模倣型SMAソフトアクチュエータ技術の応用研究」を、デザイン思考に基づいて行う新たなプロジェクトを開始しました。高田研究室は、研究マネジメントチームとして、知的財産や情報管理、市場調査など、主に法務・市場の観点からプロジェクトを支えます。この研究は、「ソフトロボティクス」というこれまでにない原動力（アクチュエータ）を用いた新しいロボット工学の領域で、高齢化社会の中でますます重要となる介護や医療器具の商品を研究開発しています。

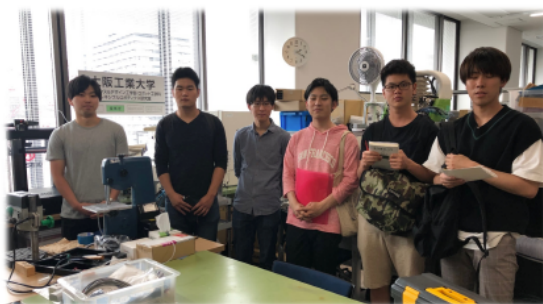


知的財産学部
知財PR隊



R&D工学部
フレキシブル
ロボティクス研究室

企業
棚橋電機／セイコー
AMCテック



- デザイン思考に基づく開発を可能にする
 - 市場との「共感」を構築する
 - ・ 市場調査とストーリーの作成を知的財産学部学生がビジネス領域学習の成果を用いて実施
 - 柔軟な発想と気づきで開発を促進
 - 大学環境を活かしたプロトタイプの製作と検証
- 工学系学部の年度期間研究の弱点を研究マネジメントによりサポート
 - デザイン思考開発に必要な設計変更と継続的研究を実現するための支援
- 研究の段階から知的財産保護・ビジネスプランの構築を実現

高田恭子 Kyoko Takada

大阪工業大学知的財産学部 准教授

kyoko.takada@oit.ac.jp

松井章浩 Akihiro Matsui

大阪工業大学知的財産研究科 准教授

akihiro.matsui@oit.ac.jp